

治水整備効果 大津放水路の効果

浸水被害を解消した大津放水路。*

※ I 期区間対象河川の流域

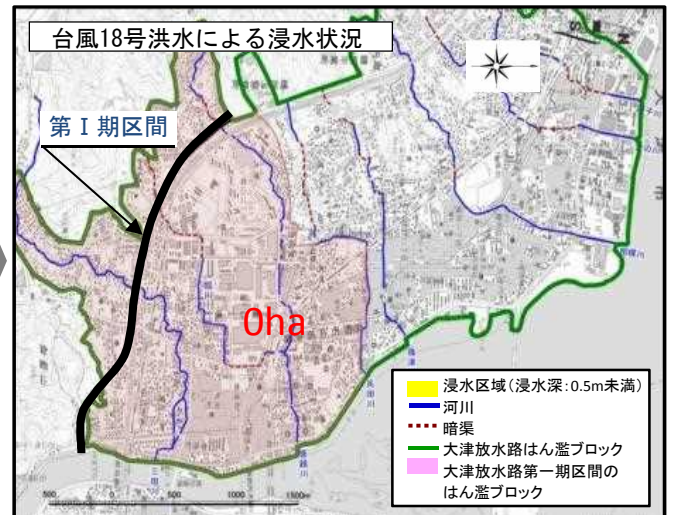
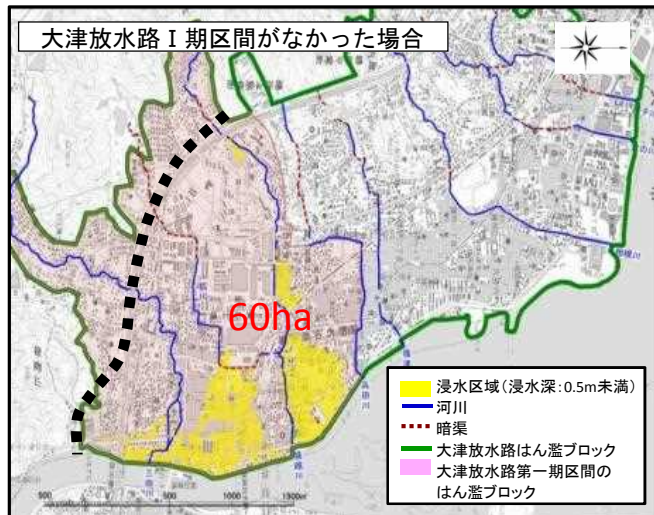
大津市南部の琵琶湖に注ぐ狐川など3河川の流域に時間雨量38mm（最大）、総雨量352mm（上別保雨量観測所）を記録したものの、大津放水路 I 期区間のはん濫域では浸水被害は発生しなかった。

もし、大津放水路 I 期区間が整備されていなければ、大津市街地で約60haが浸水し、約1,200戸もの浸水被害が発生していたと推定される。



大津放水路は、大津市南部を流れる小河川の洪水を中流部でカットし、放水路を通して瀨田川へ流下させる地下トンネル放水路。全体計画約4.7kmのうち、I 期区間約2.4kmが完成。

平成25年台風18号洪水における大津放水路の効果（I 期区間のみシミュレーション）



浸水被害の比較

